

岡山県ことばを育てる親の会

<http://homepage3.nifty.com/okayama-kotoba/>

2008サマーキャンプ 国立吉備青少年自然の家

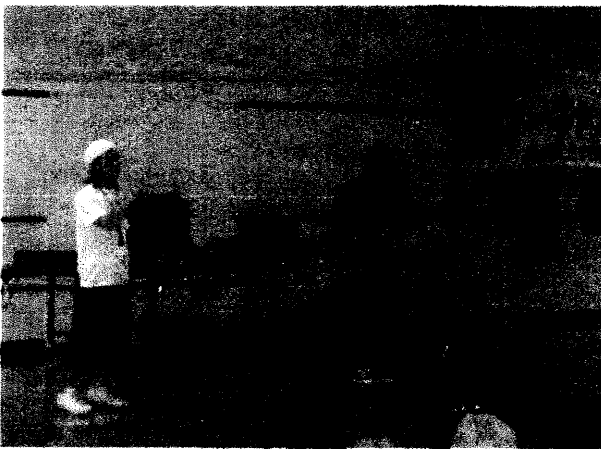
2008. 8. 19. 20

集合前 突然の雷雨、でもこんな雨に負けるもんか!!! 実行委員会の面々に気合が入った。
受付が始まる頃にはほぼ雨も上がり、参加者が続々と集まってきました。
主役の子供たち、ボランティアのお兄さんお姉さん達総勢216名が集合してさあ開始です。

一日目 はじめましての会 川遊び キャンプファイヤー



川だ~!! 魚は、いるかなあ
さっきの大雨で濁ってる大丈夫かなあ。
(子どもたちはへっちゃらそう。)
あっちでもこっちでも飛び込んだり
もぐったりして楽しそう。
遠くて歩き疲れたけど来てよかった。



キャンプファイヤーってこんなに熱いんだ。
八木さんの歌。上手だったね。
ボランティアのお兄さんと手話をしながら
歌ったよ。
知らない歌もあったけどみんなで歌うと
楽しかったね。
じゃんけん列車おもしろかったよ。





ブーメラン・水鉄砲 難しかったけど
お兄さんお姉さんが手伝ってくれたの
で上手く作れてとっても良く飛んだよ



話したいこと、聞きたいことがたくさんあって、あっという間に時間が過ぎてしまいました。
共通の思いをもったお母さんたちともっと早くから話
ができていればよかった。
とても時間が足りないのでこんな機会を作ってください。



キャンプアンケートから

こどもの声

- ①川遊びが楽しかった。 ②ブーメランであそんだ。 ③友達ができた、班全員と仲良くなれた。
- ④キャンプファイヤーの炎が熱かったけど楽しかった。 ⑤歌がよかった。
- ⑥ごはんおいしかった。

保護者の声

- ①有意義な時間が過ごせました。 ②川遊びが初めてでひやひやしましたが楽しそうに遊んでいた。
- ③スケジュールに余裕がありイライラせず子供がのびのびしていた。 ④学習会が参考になった。
- ⑤じゃんけんゲームが楽しかった。 ⑥先生やお母さんのアドバイスもあり勉強になった。
- ⑦同じような思いの親と話ができよかった。 ⑧ボランティアさんが良くしてくれた。
- ⑨子どもが、普段あまり触れあうことのない、若いお兄さんお姉さんとあそべてよかった。
- ⑩ポラさんのおかげで他の保護者さんとゆっくりした時間が取れました。
- ⑪最高のポラさんでした。よい支援者、指導者に育ってほしい。
- ⑫八木たかしさんのコンサートが良かった。 ⑬川までが遠かった。
- ⑭泊まりだとほかの子を預けたり大変なので、日帰り企画もお願いします。

ボランティアさんの声

- ①参加してよかった楽しかった。②川遊びの飛び込み楽しそうでした。③じゃんけん列車がよかった。
- ④ブーメラン、水鉄砲作り難しいところもあったけど楽しかった。後、もう少し時間が長いとよかった。
- ⑤班全員と上手く仲良くなれてよかった。子供たちと仲良くなれた。

- ⑥1日目は親と一緒にだったので安心でした。2日目は馴染んでくれていい流れだった。
- ⑦もっともっと時間があって一緒に居られたらよかった。
- ⑧貴重な体験をさせていただき、勉強に生かしていきます。ありがとうございました。

兵庫教育大学嶋崎まゆみ先生からの感想(学生も引き連れて特別講師として参加)

親御さんの話を聞いていて改めて「そんなに簡単じゃない、支援マニュアルなんてあるわけがない」と痛感しました。これからも私の立場でお役にたてることを勉強していきたいと思います。

理 事 会 (各教室の代表と担当の先生が集まり、話し合いました)

第1回(7月5日) 議題 ①2008年度の活動計画 ②サマーキャンプについて
③集い(6月1日)の感想と反省 ④情報交換その他

第2回(10月4日) 議題 ①キャンプの報告及び反省 ②県教育委員会との話し合いについて
③学習会及び相談会について ④各校情報交換その他

特別企画 おしゃべり場 2008年11月8日(倉敷東小学校にて)

親の会としては初めての試み「おしゃべり場」を開催しました。8月に行う「サマーキャンプ」のプログラムの一つである「分科会」はいつも盛り上がり、よく耳にしたことばが、「もう少し話せる時間がほしい」…。それならば、特別会として「おしゃべり」をする機会をつくってみよう、意外に反響があるかもしれない…。こうして「おしゃべり場」は生まれました。

当日はあいにくの天気。でも気がつけば15名の参加となっていました。

今日は「おしゃべり」をするんだから、明るく楽しく…おや?…自己紹介から涙ぐむお母さんが…。

そうです。お母さんたちはここに来るのにいろんな「覚悟」をして来られていたのです。なかなか協力してくれないお父さん。相談窓口でつれない対応をされ…しつけが悪いといわれ…。「私のやり方は間違っているのか。」「だれに相談したらいいの?」そんな毎日をふと思い出しながら流した涙。

うちの子供は「多動」「人の目が気になる」「集団になじめない」「パニックを起こす」「ゲームがなかなかやめられない」「宿題など勉強ができない」…あちこちで、そうそううちもとうなずく姿が見られました。学校に対しては、「担任の先生はよくしてくれているが忙しそう」「通級に通っていることで子どもがほかの子からかわれる」「学校ではいい子だが、家では“くそばばあ”と言ったり…ストレスをためているのでは…。」「先生に子どものことを相談したいが、嫌われたら支援してもらえなくなるのでは。」「他の保護者の理解が得られにくい」など日ごろの思いが次々と出てきました。

子供のために良かれ、と親の都合で特別支援学級に入れた。しかし、最近子どもから、「どうしてこんな教室に入れたの?」と言われた。最初、「がんばったら普通学級に戻れるから」と、声をかけた。それからは本当にながらんでいた。しかし、あるときからがんばらなくなった。どうして?ってたずねたら「がんばれば普通学級に戻れるって聞いたからがんばってきた。でも、どれだけがんばっても普通学級には戻れないからがんばるのやめたんだ。」…それからは、毎年子どもにどうするか確認をとるようになった。

先生からも、「先生ともなかよく」「先生と一緒に育てていきたい」「先生も困っていることがある」そのために何かノウハウを共有していきたい。情報交換を行い、先生の苦勞、お母さんの苦勞がわかりあえるように日々子どもと関わっています。とのお話がありました。

分科会と並行して行った個別相談も、先生方にご協力いただき、約2時間ずっとこもりっきりでお話をされたお母さんもいらっしゃいました。先生から「このままではいけない」「お話を聞いて一層がんばらないといけないと思った。」との熱意あるコメントが返ってきました。

開催場所を提供いただいた倉敷東小学校の先生からも「いい会でした」のことばをいただき、事務局としても「やってよかった」と実感できる会でした。今度もぜひ継続(拡大)していきたいと思います。関係者の皆さん本当にお世話になりました。

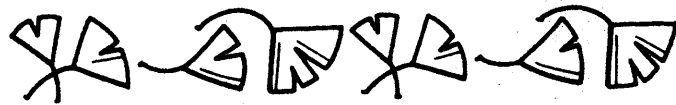


「きこえ」「情緒」「ことば」の教室の増設、現在3校で行われている中学校での通級指導教室の拡大、教員の増員、高等学校への障害児の受け入れなどを求めました。参加した20人の保護者からは通級を希望している児童が増える中で、週1回の指導がなかなかしてもらえない実態や、担任の先生に大きな負担がかかっている現実、現在通っている高等学校の体制の実状など、各校での厳しい現状が報告され、通級指導教室の改善などを強く求めました。

県教委からは「みなさんの要望はしっかり受け止めさせてもらい、少しでも前進できるよう努力したい、高校での特別支援教育については、現在県立高校のうち12校で特別支援コーディネーターを置くなどの取り組みをはじめており、順次拡大していきたい」との回答がありました。

設けて頂いた2時間、目一杯思いをぶつけました。

倉敷地区から



☆倉敷市教育委員会への陳情をいたしました。

目一杯がんばってグレーゾーンで踏みとどまっている子は、グレーゾーンだからいいのではないんです。グレーゾーンだから大変なんです。

2次・3次障害の減少のために。市立高校進学、就職に支援をお願いします。

学校行事と先生の体調不良で何週間も通級が開かれない時があった。正式な授業なのだから空白を作らないでほしい。県が代員の対応できないのなら市で何とかしてほしい。

☆倉敷市聴覚・言語・情緒連合親の会企画研修講演会

- ・10月に、倉敷市特別支援教育専門家スタッフ 森依子さん 「自分で生きようとする子ども」を開催。
- ・2009・1・25 くらしき健康福祉プラザホール で、「発達障害のある子の思春期」
- 講演 北海道大学大学院教育学研究院付属子ども発達臨床研修センター 田中康雄教授
- (主催：倉敷市障害児学級親の会 共催：倉敷市きこえ・ことば・情緒の教室、学級連合親の会)

事務局便り

- ◎ 県への要望アンケートでは、たくさんお寄せいただきありがとうございました。皆さんの思いが切実に伝わってきました。これからも、いつでもご意見やご要望を事務局にお寄せください。行政にしっかり伝えていきたいと思います。
- ◎ 2009年2月11日に、東京学芸大学の奥住秀之先生の講演を予定しています。演題は《特別支援のめざすもの》です。詳しい案内は、後日お届けします。ぜひご参加ください。

編集後記

今年度第2回ができあがりしました。今回はサマーキャンプを中心に編集いたしました。次回に向けて皆さんからの投稿・情報・企画などをお寄せ下さい。よろしくお願いいたします。